

1月は風の冷たい日があれば、太陽が照って暖かい日もありました。子どもたちは寒い日も元気いっぱい、園庭やテラスでは凧揚げを楽しみ、袋にシールをペタペタと貼って作った凧を持って走ったり、凧がくるくる回ってふわふわと浮いているのを見たりしてそれぞれ思い思いに楽しんでいました。お部屋ではままごとで作ったごはんを保育者や友だちに「どうぞ」と渡したり、朝友だちが登園してくると側に駆け寄り、顔を覗き込んで「おはよう」と挨拶をしたりと、友だちと一緒に過ごす楽しさを感じている様子も見られます。

あり組で過ごす日々も残り2ヶ月となりました。今月も保育者や友だちと関わる中で、一緒にお気に入りの『おにのパンツ』の歌に合わせて踊ったり、新聞紙を丸めて豆まきをしたりして、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



オムツ替えをしている時のことです。いつもは保育者と一緒にズボン履くAくん。「今日は一人で履く！」と言わんばかりに保育者の手を振り払うと、一生懸命一人で履いていました。ズボンが前後反対になっていましたが、やっとの思いで履き終えた満足気な笑顔がとてもかわいらしかったです。

1月はビニール袋で作った凧や、渦巻き凧を持って園庭中をのびのびと走って元気いっぱい遊びました。カルタ取りは遊ぶ回数を重ねるうちに素早く取れるようになってたり、取れる札数が増えたりしてきています。

年末年始の休み明けに会った子どもたちは、言葉が増えたり、「じぶんて!」と言って、何でも自分でしてみようとしたりする姿が見られるようになってたりと大きな成長を感じました。また、1月から給食の麺類は、10~15cmの麺になり、フォークを使い始めるなど、新しいことに挑戦しています。

今月はクレパスで色を塗った大きな鬼の絵に向かって、新聞紙で作った豆を投げて豆まきを楽しめます。また、鬼の顔に目や口のパーツを貼ったり、好きな色の花紙を丸めて貼って鬼の髪の毛を表現したりして、それぞれ思い思いの鬼を作って楽しみたいと思います。



ままごとでプリンを作っていたAちゃんは保育者に「たべていいよ」とスプーンで食べさせてくれました。それを見た3人の友だちが「たべたい!」と言うと、一人ずつ口に運んでくれた優しいAちゃんでした。子ども同士のやりとりが増えて心が温まる毎日です。

寒さに負けず戸外でかくれんぼや、むっくりくまさんをして遊びりすぐみの子どもたち。ビニール袋にシールを貼って作った自分の凧で凧揚げをしたり、保育者や友だちと一緒にカルタをしたりするなど、正月遊びも楽しんでいました。先月から食後のうがいが始まり、「ひとりでぶくぶくできるよ」とうがいをしようとする姿に成長を感じています。また、8、9人のグループで大きな模造紙に筆で色を塗って遊びました。いつもの画用紙よりも大きくて「まだしろいところあるよ」と塗れていないところに気づく姿も見られ、思う存分楽しんでいました。塗ったものは鬼に変身して、保育室内に登場します。子どもたちが新聞紙を丸めて作った豆で豆まきを楽しもうと思います。

2月の中旬頃からは進級に向けて、昼食をグループごとではなく、全員で食べるようになります。みんなで食べる楽しさを味わえるように過ごしていきたいと思います。



年末年始の休み明けに、楽しかったことをAくんとBちゃんに話していました。Aくん「しんかんせんにのったよ」Bちゃん「Bちゃんもしんかんせん のったよ」Aくん「いいね~ひこうきものった」Bちゃん「Bちゃんもひこうきとヘリコプターのった」と、どんどん話が膨らみ、楽しそうな2人、子ども同士で会話を楽しむ様子に成長を感じました。